

夢追い人



特別ゲストの檀ふみさんと
映画評論家の矢野寛治さん

文化教養と医療・福祉の複合施設である「おかげさまで交流プラザ」が、高邦会グループ創立一〇〇周年記念事業として十月十日グランドオープンした。式典には自治体や企業関係者約四〇〇人が出席。女性の檀ふみさんや映画評論家の矢野寛治さん、精神科医で映画監督の和田秀樹国際医療福祉大学大学院教授が特別ゲストとして参加した。

大川市酒見にある「おかげさまで交流プラザ」は鉄筋九階建て。各施設はこれまで順次オープンしてきた。本年四月には、社会福祉法人高邦福祉会が運営する「認定こども園高邦キッズハウス」、大川市の委託事業である「高邦病児保育室」、五月には、医療法人社団高邦会が運営する「有明クリニックおかげさまで交流プラザ通所リハビリテーションセンター」、七月には、「ブック&カフェ」が一体となった「積文館書店・ドトールコーヒーショップ」。そして十月一日、映画館「大川シネマホール」の営業開始をもつて全ての施設が勢揃いした。

「おかげさまで交流プラザ」開設にはどんなきっかけがあつ

国際医療福祉大学・高邦会グループ 医療法人社団高邦会 理事 中島剛さん

広く愛される交流の場に

大川シネマホール

上映中
大川シネマホール
大川市「国際医療福祉大学」そばに
10.11日 オープン

2014年度の国内外映画祭ノミネート作品を一部上映	
10.11(日)～11.6(金)「名画まつり」開催!	
1 10/11～→10/16～	2 10/17～→10/23～
小さいうち	城の内
アーヴィング・ワーナー監督	10:00～ 21:30～
アーヴィング・ワーナー監督	12:40～ 21:30～
3 10/24(日)～→10/30(土)	4 10/31(日)～→11/6(金)
よしおの映画	白ゆき姫姫人形劇
アーヴィング・ワーナー監督	10:30～ 21:30～
アーヴィング・ワーナー監督	13:00～ 21:30～
大川シネマホール TEL 0944-85-8002	



4階 | 大川シネマホール



ホワイエを彩る「大川組子」

高品質のデジタル映像、迫力の大スクリーンとサラウンドシステム
ゆったりとしたくつろぎの空間で話題の映画を楽しめる

レストランやおしゃれなカフェを増やして欲しい」と
いった声が数多く寄せられたのです。」そして「ショッキングなことに約七割の学生
が、卒業後はそういった施設の少ない、大川市から転出したないと考えていることが明らかになつたのです。」

こうした状況を打破すべく、「私たちは魅力的な交流の場を作りあげるプロジェクトを進めてきました。」と中島さんは話す。その理念は何だろうか。「その施設は若者も魅力を感じる文化の発信拠点であり、子どもから高齢者までが世代を超えて集い、交流できる場であること。社会福祉の発展と地域活性化に資するための施設にすること。営利を目的としない公益事業にすることでした。」

さて、大川市に四

たのだろうか。高邦会理事の中島剛さんは「五年前国際医療福祉大学の学生にアンケートをとったのがきっかけでした。」という。

中島剛さんは「五年前国際医療福祉大学の学生にアンケートをとったのがきっかけでした。」とい

たの結果は？「地元に映画館が欲しい」「書店や娯楽施設が少ない」「ファミリー施設を増やして欲しい」と

十年ぶりに復活した常設の映画館である、四階シネマホールに話を移そう。プレミアム席九席を含む全三七〇席に、車いすスペース十席。高品質

のデジタル映像、高さ六・三メートル、幅十四・五メートルのシルバー大スクリーンを使つた迫力の大画面と七・一chサラウンドシステムをもつ、トップクラスの映画館。

中島さんは「一度来てもらえ

ば、そのすばらしさを体感で

きると思います。きっとリ

ピーターになつて頂けると思

います」と自信をみせる。佐賀や久留米まで出かける必要がないのだ。

『大川シネマホール』は様々
な特典をもうけており、その
代表的なものとして大川シネ
マ個人会員（年会費一・三万
円）がある。年会費一万円だと
「一・七〇〇円券を五枚進
呈します。それらを使い切つ
ても一・七〇〇円のところ一・
一〇〇円で映画を楽しめる。
しかも、映画一回につき、三
〇〇円のソフトドリンクを
サービスします。」その他に
各種割引制度ももうけている。

休館日には、落語、演芸、
講演会・研修会・サークル発
表など学生や市民が交流でき
るコンベンションホールとし
て活用できる。

ホワイエには豪華な雰囲気
が漂っている。地元特産品や
工芸品、また大川組子の第一

レストランやおしゃれなカフェを増やして欲しい」と
いった声が数多く寄せられ
たのです。」そして「ショッキン
グなことに約七割の学生
が、卒業後はそういった施
設の少ない、大川市から転
出したないと考えていること
が明らかになつたのです。」

こうした状況を打破すべく、

「私たちは魅力的な交流

の場を作りあげるプロ

ジェクトを進めてきました。」と中島

さんは話す。その理

念は何だろうか。「そ

の施設は若者も魅力

を感じる文化の発信

拠点であり、子ども

から高齢者までが世

代を超えて集い、交

流できる場であるこ

と。社会福祉の発展

と地域活性化に資す

るための施設にするこ

と。営利を目的と

しない公益事業にす

ることでした。」

中島剛さんは「五年前国際医療福祉大学の学生にアンケートをとったのがきっかけでした。」とい

たの結果は？「地元に映画館が欲しい」「書店や娯楽施設が少ない」「ファミリー施設を増やして欲しい」と

十年ぶりに復活した常設の映画館である、四階シネマホールに話を移そう。プレミアム席九席を含む全三七〇席に、車いすスペース十席。高品質

のデジタル映像、高さ六・三メートル、幅十四・五メートルのシルバー大スクリーンを使つた迫力の大画面と七・一chサラウンドシステムをもつ、トップクラスの映画館。

中島さんは「一度来てもらえ

ば、そのすばらしさを体感で

きると思います。きっとリ

ピーターになつて頂けると思

います」と自信をみせる。佐

賀や久留米まで出かける必要

がないのだ。

『大川シネマホール』は様々
な特典をもうけており、その
代表的なものとして大川シネ
マ個人会員（年会費一・三万
円）がある。年会費一万円だと
「一・七〇〇円券を五枚進
呈します。それらを使い切つ
ても一・七〇〇円のところ一・
一〇〇円で映画を楽しめる。
しかも、映画一回につき、三
〇〇円のソフトドリンクを
サービスします。」その他に
各種割引制度ももうけている。

休館日には、落語、演芸、
講演会・研修会・サークル発
表など学生や市民が交流でき
るコンベンションホールとし
て活用できる。

人者である木下正人さん、前田英治さん、角義行さんらの組子作品が展示されている。市外からのお客様に大川をアピールするためだ。

さて、高邦会グループとしての夢は何だろうか。理事の中島さんはこう話す。「おおかわ交流プラザ」を皆様から広く愛され、活用して頂ける施設に発展させていくことです。そのため近々『おおかわ交流プラザ運営委員会』を立ち上げる予定です。行政や経済界など各界の代表をはじめ婦人会、大学関係者など幅広い世代にも横断的に参加してもらい、交流の場、地元大川の活性化に、より一層貢献できるよう努めていきたいと思っています。」



1階 | 積文館書店・トールコーヒーショップ



2階 | 認定こども園 高邦キッズハウス
／高邦病児保育室



3階 | 有明クリニック おおかわ交流プラザ
通所リハビリテーションセンター